

<小数のかけ算とわり算③>

組	番	名前

- 1 下の筆算で、14は、どんな数が14こあることを表していますか。□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 1.2 \\
 7 \overline{) 8.4} \\
 \underline{7} \\
 14 \\
 \underline{14} \\
 0
 \end{array}$$

14は、□が14こあることを表している。

- 2 あきこさんは、 3.6×7 の計算のしかたを、次のように整数どうしの計算をもとにして説明しました。下の(1)、(2)の問いに答えましょう。



3.6×7 の3.6を10倍すると 36×7 という計算になり、その積は、 3.6×7 の積の10倍になります。
だから、 3.6×7 の積は、 36×7 の積を10でわれば求められます。

- (1) 次の式の□の中の計算をもとにして、 3.6×7 の計算の答えを求めましょう。

$$36 \times 7 = 252$$

- (2) あきこさんと同じように整数どうしの計算をもとにして、 0.05×7 の計算のしかたを下書き出しにつづけて書きましょう。(答えは書かなくてよい。)

0.05×7 の0.05を

<小数のかけ算とわり算③>

答え

組	番	名前

- 1 下の筆算で、14は、どんな数が14こあることを表していますか。□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 7 \overline{) 8.4} \\ \underline{7} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$$

14は、□が14こあることを表している。

- 2 あきこさんは、 3.6×7 の計算のしかたを、次のように整数どうしの計算をもとにして説明しました。下の(1)、(2)の問いに答えましょう。



3.6×7 の3.6を10倍すると 36×7 という計算になり、その積は、 3.6×7 の積の10倍になります。
だから、 3.6×7 の積は、 36×7 の積を10でわれば求められます。

- (1) 次の式の□の中の計算をもとにして、 3.6×7 の計算の答えを求めましょう。

$$36 \times 7 = 252$$

25.2

- (2) あきこさんと同じように整数どうしの計算をもとにして、 0.05×7 の計算のしかたを下書き出しにつづけて書きましょう。(答えは書かなくてよい。)

0.05×7 の0.05を

(例) 100倍すると、 5×7 という計算になり、その積は
 0.05×7 の積の100倍になります。

だから 0.05×7 の積は、 5×7 の積を100でわれば求められます。